



題 字 和泉 哲章

(新潟県書道教育研究会理事 新潟市立東新潟中学校長)

NO. 9 令和7年7月23日(水)

発行 新潟県NIE推進協議会事務局

功労者表彰を受けられた皆様より

令和7年2月6日に実施した新潟県NIE推進協議会30周年記念式典において、新潟県NIEアドバイザー3人の功労者表彰を行いました。

NIEアドバイザーとは、新聞活用教育により児童生徒の資質能力を一層高めるため日本新聞協会が認定した方のことを言います。

今回は、表彰を受けた3人の方から特別に寄稿していただきました。



新潟県NIEアドバイザー 柏崎市立比角小学校 教頭 山之内朋子 様

県NIEアドバイザーとして十年の節目を迎え、この度感謝状を賜り誠にありがとうございました。新聞を活用した授業を通して、子供たちが意見を交わし考えを深めていく姿に教育の力を実感しております。印象的に感じているのは、NIE実践を進めている委嘱校において職員間のチーム力が確実に向上するという点です。「新聞を活用して子供たちに必要な力をつける」という目的に向かって教材研究や意見交換をすることで、互いの強みを認め合う風土が育っていくのです。NIEは単なる指導手段ではなく、学校文化を育てる力をもっていると感じています。子供たちの目が輝いた瞬間や各校における創意あふれる実践、こうした経験を積み重ねることができたこの十年は、私自身の学びの場でもありました。今後も微力ではありますが、NIEの可能性を広げるお手伝いをし、各校のチーム力向上ならびに子供たちのよりよい成長のために貢献できれば幸いです。



新潟県NIEアドバイザー 新潟市立大鷲小学校 教頭 牛嶋 昌克 様

アドバイザーの任も10年となり、一区切りの節目を迎えた気持ちです。私自身のNIE実践としては興味がある記事をたまに授業で使うほどでした。NIE研修の機会を得るたびに、数々の実践に触れたり、いっしょに授業づくりをさせていただいたりしたことで、NIEの視点の面白さや、教材化することの価値を学ぶことができた気がします。NIEの研修では児童生徒、先生方、学生、一般市民などなどいろいろな方々との学びがあります。アドバイザー間の研修や情報交換があることで、それぞれの学習者にあった新聞との出会わせ方や大人が学ぶときに考えなければならないことも学ぶことができたと感じています。NIEには学んだことを自分や社会とつなげて考えて深く理解すること、そして、様々なことに興味をもち、知ろうとすることに価値があると感じています。これからも、多少早起きをしつつ、ゆとりをもちつつ、実践を続けていこうと思っています。



新潟県NIEアドバイザー 新潟市立両川小学校 教諭 中村 康 様

私にとって、新聞記事との出会い、NIEとの出会いは、人との出会いでした。担当校や講座で出会った先生方や学生の皆さん、NIEの授業をきっかけに記事を通して出会った多くの方々、NIEに携わらなければ決して出会うことができなかった人と出会うことができました。中には、NIEアドバイザー駆け出しの頃、公開授業中、授業で使用した記事を執筆した記者さんが偶然参観してお互いに驚くといった出会いもありました。ただ、このとき記者さんからいただいた「私の記事が授業で子どもに役立つなんて、先生、こんなに嬉しいことはないよ」の言葉は、今でも私の宝物です。今日も新聞記事を読むと、多くの人々の生きた証や挑戦し続ける姿が記事となって掲載されています。これまでたくさんの人と出会うことができたことに感謝いたしますとともに、これからも、より質の高いNIEの活動を創る出すことができるよう精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いたします。

ICTを活用したNIE ～「日常化」と「保護者の巻き込み」を考慮した取組から～

～令和7（2025）年度 第1回 情報交換会～



6月10日午後、メディアシップ日報ホールで「2025年度第1回情報交換会」を開催しました。新潟県教育委員会太田勇二教育長、新潟市教育委員会夏目久義教育長をはじめ、行政や学校の教育関係者、新聞・通信社の代表者ら約60名が参加してくださいました。

全体での情報交換のテーマは、標題のとおりでした。県内全校からご協力いただいたアンケートの集計結果の報告後、新潟市立金津小学校の江部壮彦教諭と新潟市立葛塚東小学校の内山雄太郎主幹教諭のお2人から、昨年度まで実践・研究委嘱校として取り組んできた実践をもとに発表していただきました。お2人の発表をもとに、「ICTを活用した持続可能なNIEの日常化」に加え、学習参観でのNIEの公開や、デジタル教材の有効性、新聞配備の重要性等が、あらためて話題になり、活発な意見交換が行われました。

見出しは究極の要約！？

～実践・研究委嘱校の校内研修アンケートより～

ある実践・研究委嘱校が「新聞の基礎理解」のために、「新聞の読み方」「新聞の作り方」についてを、新聞社の方を講師として依頼し、職員研修を実施しました。研修終了後のアンケートに、以下のような記載がありました。



新聞記事の構成が逆三角形だということが、はじめて分かりました。見出しが究極の要約であるということも、とてもよく理解できました。日々忙しくなかなか隅々まで読むことができませんが、せめて見出しだけでも、そしてできたらリード文も、というように少しずつ読む習慣を付け、「一覧性」「網羅性」「信頼性」という新聞の良さに触れながら、力を付けたいと思いました。(ある研究主任)

新聞は最後まで読むものだと思っていて、あまり好きではありませんでした。でも、新聞講座で、新聞は伝えたい順になっていることを学び、そんなことはないんだということが分かりました。簡単に読む方法も知ることができました。頭もよくなると分かったので、どんどん読もうと思います。(ある児童)

実践・研究委嘱校等に限らず、このような感想をもつことができる校内研修や出前授業を実施してみたいという研究主任さん、学年主任さん、学級担任さんは、是非「新潟県NIE推進協議会」のHPからお申し込みください。お待ちしております。

～思考力・判断力・表現力を確実に高める～

第32回「NIE新聞記事感想文コンクール」作品募集！

新潟県NIE推進協議会では、今年度も小学校、中学校、中高一貫教育学校、高等学校、特別支援学校の児童生徒を対象に、新聞にちなんだ感想文を募集しています。新聞記事を読んで、記事を選んだ理由や記事から考えさせられたこと、記事と自分の経験とのかかわりなど、これからの生活などについて書くこととしています。本年度より、募集要項や原稿用紙が少し変わりました。詳しくは、新潟県NIE推進協議会のHPや各学校に送った募集要項等で確認してください。✕切は9月4日(木)です。夏休みの自主課題等に取り入れていただけたら幸いです。たくさんのご応募をお待ちしています！



NIEの推進 = 学習指導要領における資質・能力の育成

6月7日（土）日本新聞協会（東京都千代田区）を会場に、関東甲信越静岡ブロック NIE アドバイザー・NIE 推進協議会事務局長会議が実施され、事務局長宇ノ井が参加しました。

ワークショップを実施するにあたり、集まった各都県のアドバイザーに、日本新聞協会の関口 NIE コーディネーターから次のような話がありました。

「新聞活用学習」において「思考力・判断力」を育て、「新聞制作学習」において「表現力」を育成することが可能となる。さらに「新聞機能学習」（構成・面建て・取材等）において「知識・技能」を習得させることが可能となる。信頼性の高い新聞の情報に日常的に接しようとする意識や行動を「新聞読習慣」ととらえると、「学びに向かう力・人間性」を涵養することが可能となる。

関口コーディネーターは、学習指導要領における資質・能力の柱と NIE を関連付け、分かりやすく整理してご説明くださいました。

上記のように捉えると、NIE の推進は、学習指導要領における資質・能力の育成に直結していることが理解できます。あらためて、NIE 推進のための「やる気」をいただいた気持ちになりました。

授業で学ぶ - 2025年 新潟県NIE実践・研究委嘱校-

<継続校（2024・2025年度）>

	校長	NIE担当者	研究会（授業公開）
見附市立葛巻小学校	白井 敦	金子 剛志	10月17日（金）
聖籠町立蓮野小学校	内山谷 寿夫	高橋 亜由美	11月21日（金）
新潟市立南万代小学校	石山 博之	田村 眸	11月28日（金）
上越市立中郷中学校	山岸 賢一	小林 保子	12月5日（金）
新潟市立大形中学校	後野 孝仁	鈴木 昌子	12月15日（月）
新潟県立中条高等学校	横堀 正晴	本間 由紀	11月4日（火）

<新規校（2025・2026年度）>

	校長	NIE担当者	授業研修会
上越市立保倉小学校	荒井 尊嗣	金子 千恵	10月28日（火）
長岡市立下川西小学校	羽鳥 益実	笹川 歩希	11月7日（金）
新潟市立横越小学校	音田 和行	中浜 愛美子	12月12日（金）
魚沼市立広神中学校	小森 一秀	北村 優介	11月19日（水）
新潟市立上山中学校	桑原 通泰	関谷 卓也	10月3日（金）
新潟県立新潟翠江高等学校	吉川 保	園田 健太郎	12月7日（日）

新潟県NIEを牽引する方々

<NIEマイスター>

津野庄一郎 関川村教育委員会 教育長
若林 靖人 長岡市立与板中学校 教諭

<NIEアドバイザー> **日本新聞協会認定**

山之内 朋子 柏崎市立比角小学校 教頭
泉 実 上越市立浦川原小学校 校長
柳澤 淳 上越市立雄志中学校 教頭
岡村 範雄 上越市立城東中学校 教諭
柳澤 一輝 新潟県教育委員会義務教育課 参事
坂井 一 長岡市立岡南小学校 教頭
井上 北斗 燕市立燕中学校 教諭



関 慎太郎	新発田市立豊浦小学校 教頭
高澤 元	新発田市立加治川小学校 教頭
海老名 崇	新発田市立第一中学校 教諭
小池満喜子	村上市立神納小学校 校長
猪股 快門	佐渡市立行谷小学校 教頭
古井丸裕三	新潟市立曾根小学校 校長
生田 恵子	新潟市立東青山小学校 校長
牛腸 昌克	新潟市立大鷲小学校 教頭
中村 康	新潟市立両川小学校 教諭
山本 達也	新潟市教育委員会学校人事課 管理主事
蟻塚 幸子	新潟県立新発田商業高等学校 教諭
押木 和子	新潟県立三条高等学校 教諭
早川 勝志	新潟県立新潟南高等学校 教諭



<NIEリーダー> (旧実践委研究嘱校 NIE 担当者)

落合 悠太	新潟市立女池小学校 教諭
小黒 淳一	佐渡市立両津中学校 教諭
星野 敬子	新発田市立東小学校 教諭
堀川瑛里那	糸魚川市立糸魚川小学校 教諭
高橋 健一	新潟市立木山小学校 教頭
五島 拓	新潟第一高等学校 教諭
久保田ひとみ	長岡市立宮内中学校 教諭
加藤 雅晃	新潟市立松浜小学校 教諭
新野 真希	阿賀野市立水原小学校 教諭
渡邊あずさ	佐渡市立二宮小学校 教諭
江部 壮彦	新潟市立金津小学校 教諭
内山雄太郎	新潟市立葛塚東小学校 主幹教諭
松田 彰英	新潟県立糸魚川高等学校 教諭



特色ある実践 - 新潟市NIE推進校(2025) -

新潟市は「未来の新潟を担う子供たちが、活字に慣れ親しみ、現実と学びを結ぶ新聞を活用した学習を通して、確かな学力を身に付けるよう NIE を推進する」という趣旨のもと、今年度も下記の 16 校(校長) を独自に NIE 推進校に指定し、活動を展開することになっています。

北 区	濁川小学校	(高島 純)	光晴中学校	(渡邊 敏尚)
東 区	南中野山小学校	(堀川 善行)	山の下中学校	(東 淳也)
中央区	桜が丘小学校	(中村 一彦)	宮浦中学校	(小林 輝幸)
	明鏡高等学校	(小林 正樹)		
江南区	亀田小学校	(平山 誠)	亀田中学校	(祝 貴浩)
秋葉区	金津小学校	(相馬 朋美)	新津第二中学校	(長谷川 淳)
南 区	臼井小学校	(渡邊 丈夫)	白根第一中学校	(熊谷 勝利)
西 区	小針小学校	(荻野 真美)		
西蒲区	漆山小学校	(塚田 康一)	潟東中学校	(佐々木忠洋)

<編集後記>

新潟大学養護教諭特別科で、新潟日報社寄付講座を担当させていただいています。学校保健に関する記事、健康・安全に関する記事等、学生は、毎回気になった記事をスクラップして持ち寄り、記者の意図を探ったり、その記事を基に議論し合ったりします。「根拠も含めた上で自分なりの意見をしっかりともち、中立的な視点をもって人にきちんと伝えられるようになりたい」と意気込む学生たち。まさに NIE による効果を見極めた上で、真剣に取り組んでいます。NIE の良さをさらに伝えていきます。(事務局長：宇ノ井修二)